



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
資料配布

配布日時	平成30年 8月20日 14時00分
------	-----------------------

件名	<p align="center">インフラの維持管理の課題に対して民会企業を交えた討議 と最新技術のマッチングを図ります！</p> <p align="center">～ インフラメンテナンス国民会議 近畿フォーラム 2018 ～</p>
----	---

概要	<p>『第6回フォーラム』</p> <p>○施設管理者が抱えるインフラの維持管理の課題について、民間企業等を交え、課題解決に向けた討議を行います。</p> <p>■ 日 時：平成30年8月24日（金） 13:30～16:30</p> <p>■ 場 所：花博記念公園鶴見緑地 ハナミズキホール（水の館ホール付属展示場） 大阪市鶴見区緑地公園2-163</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>討議テーマ（予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 海上に漂着したゴミの測量技術 ② 人道吊り橋の効率的な補修技術・長寿命化技術 ③ 橋梁、ダム等、足場の設置が困難な箇所の目視点検を支援する技術 ④ 異常気象時に道路法面等の安全性や被災状況を把握する技術 ⑤ 道路土工構造物の目視点検を支援する安価で効率的な点検技術 </div> <p>※本会議では、冒頭の挨拶までを公開とさせていただきます。（課題に関する班別討議は、非公開とさせていただきます。）討議内容については、後日、以下HPに公開いたします。 http://www.kokuseiken.or.jp/topic_3.htm</p> <p>『第3回ピッチイベント※1』</p> <p>○施設管理者等が抱える課題に対し、民間事業者等が保有する最新の技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図ります。</p> <p>※1 短い時間で自社の製品やサービスを紹介（プレゼン）するイベント</p> <p>■ 日 時：平成30年8月23日（木）12:30～16:30 ※12:30～13:45で実証実験報告を行います。</p> <p>■ 場 所：『第6回フォーラム』と同様。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>テーマ（予定）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 道路付属物（標識柱等の鋼製支柱）の土中部の点検を支援する技術 ② 河道・堤防を効率的な点検・診断を行う技術 ③ 水路クラックの簡易補修を支援する技術 ④ トンネル等の点検に際し、継続的に整合が取れた点検を可能とする技術 </div> <p>「インフラメンテナンス国民会議」の詳細は、 http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.htmlをご参照下さい。</p> <p>「インフラメンテナンス国民会議近畿フォーラム2018」の詳細は、 http://www.kokuseiken.or.jp/topic_3.htmをご参照下さい。</p>
----	--

取扱い	—
-----	---

発表場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 企画部 事業調整官 そうがわ ゆうさく 寒川 雄作</p> <p align="center">企画部 企画課課長補佐 かわしま たかひろ 川島 隆宏</p> <p>TEL : 06-6942-1141（内線 3116、3156）、06-6942-4090（直通）</p>
------	---

第6回フォーラム 班別討議テーマ

【インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム】

テーマ1 海上に漂着したゴミの測量技術

<概要>

海上に漂着したゴミ等の状況(面積等)を測量し、その体積等を算出する技術について情報交換を行い討議する

テーマ2 人道吊り橋の効率的な補修技術・長寿命化技術

<概要>

架設から相当年数が経過し損傷のある人道吊り橋のケーブルを補修・補強(長寿命化)する技術について情報交換を行い討議する。

テーマ3 橋梁、ダム等の足場の設置が困難な箇所の目視点検を支援する技術

<概要>

高所作業車が届かず、梯子・足場の設置が困難な箇所での点検技術について、以下の構造物を対象に情報交換を行い討議する。

- ① ハイピア橋脚
- ② ダム堤体等の高所
- ③ 体育館棟の大規模建築物の屋根や壁面

テーマ4 異常気象時に道路法面等の安全性や被災状況を把握する技術

<概要>

異常気象時に道路法面等の安全性や被災状況を的確に把握・確認し、事前通行規制や解除について判断できる技術について情報交換を行い討議する。

テーマ5 道路土工構造物の目視点検を支援する安価で効率的な点検技術

<概要>

谷側における道路土工構造物(盛土・石積み・擁壁など)の状況を安価で効率的に把握できるスクリーニング技術(情報化技術)について情報交換を行い討議する。

第3回ピッチイベント テーマ

【インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム】

★テーマ①

道路付属物（標識柱等の鋼製支柱）の土中部の点検を支援する技術

【要件：求める技術】

- 標識柱や照明柱などの道路付属物（鋼製支柱）の埋込部（G L - 4 c m付近）での、腐食状況（鋼管の厚み等）を掘削することなく把握できる非破壊調査技術を求める。

★テーマ②

河道・堤防を効率的な点検・診断を行う技術

【要件：求める技術】

- 河道・堤防の点検・診断時に、近接目視と同等以上でかつ効率的で安価な技術
特に車が進入できない箇所での近接目視点検と同等以上の点検技術を求める。

★テーマ③

水路クラックの簡易補修を支援する技術

【要件：求める材料及び技術】

- 経年変化によるクラック等により、漏水が発生しているコンクリート水路（幅50～150cm程度）を、誰でも簡単に扱えることができる補修材料及び補修技術を求める。

★テーマ④

トンネル等の点検に際し、継続的に整合が取れた点検を可能とする技術

【要件：求める技術】

トンネル等の構造物点検に際し、点検者が異なっても統一的な見方ができる技術

- ① トンネル監査路から、天井付近の覆工コンクリートの浮きや剥離を把握する技術を求める。
- ② トンネル構造物のカルテ等から、重点的に点検すべき個所の特定及び現場で過去の点検データなどと照合し、損傷の進行状況を現場で確認できる技術を求める。